

佐々木北涯 ささき きたがき 俳人。慶應二年十一月一日出羽國山本郡久米村生れ、大正七年五月十五日歿（八六一—一九八）。諱寛綱、通稱久文助。別號北葦千、芋老、觀瀾庵。舊派京匠の父里月の下で幼少より作句。のち正岡子規の俳論に共鳴、島田五空等と北斗吟社を結成して俳誌『北斗』を創刊、その後石井露月を加はり、明治二十三年『俳星』を創刊した。へ秋田県における明治新俳句の運動は、實に北涯によつて暗えられ建設されたものごであった（高木蒼梧）。二十六年以降秋田縣會議員。

船山草花著『俳人北涯』（昭和八年五月二十日俳書堂）はその句集。